

映画

「袴田巖」
はかまだ いわお

夢の間の世の中
ゆめ まよなか

冤罪が奪った日常

冤罪事件で死刑囚となった袴田巖さん(80)のドキュメンタリー映画は、48年ぶりに釈放された袴田さんの「その後」を追う。如・秀子さんの自宅で

「自由な生活を始めたものの冤罪で奪われたものは計り知れない。袴田さんが巻き込まれたのは50年前、静岡県清水市(当時)で起きた強盗・殺人・放火

事件、通称「袴田事件」だ。4年前のDNA鑑定の結果が無罪の証拠となり、2014年3月、静岡地方裁判所は再審(裁判のやり直し)開始を認める決定を下し、袴田さんは即日釈放された。死刑の恐怖にさいなまれてきた拘禁生活の後遺症で、袴田さんは、精神も身体もすっかり病んでしまった。普通の生活に戻っても、独房にいた時と変

わらず、家の中を「進」し続ける、「妄想の世界」と「現実の世界」の区別ができなく

なる。釈放後1年を過ぎた頃から少しずつ回復の兆しが現れるのだが…。

自宅まで、袴田さんに会いに来た「狭山事件」の石川一雄さんや、「足利事件」の菅



金聖雄監督作品

© Kimoon Film

2016/4/17 カトリック新聞